

墨田区のお知らせ2012.4.1

NO.1670 (毎月1日・11日・21日発行)

すみだ

発行：墨田区(広報広聴担当) 公5608-1111代表 〒130-8640墨田区吾妻橋一丁目23番20号

2つの矩形が寄り添うシンボルは、墨田区在住・在勤者、企業やNPOなどと、区および区職員との協働・協治を表すものです。

- 2面以降の主な内容
2・3面…魅力あふれる“すみだ”を歩く「まち歩きコース」の紹介
4・5面…すみだプレミアム商品券の販売
6面…すこやかライフ
7・8面…講座・教室・催し・募集

すみだと全国の旬間歳時記

●春にゆかりの区登録有形文化財「墨堤植桜之碑」

明治20年に建てられた高さ約3mの石碑(向島5-4・隅田公園内)。大水の被害や地元住民による植桜など、墨堤の歴史が刻まれている。



http://www.city.sumida.lg.jp/

郷土文化資料館にお出掛けください
4月1日(日)～6月10日(日)
「隅田川の情景・桜」展

すみだ郷土文化資料館(向島2-3-5)では、東京スカイツリー®の開業を記念し、より多くの方に“魅力あふれるすみだ”をお伝えするため、区の歴史にゆかりが深い「隅田川の情景」に関する年間特集展示を4回に分けて開催します。今日から始まる初回は墨堤の花見の時期にあわせて、“桜”をテーマに初公開の資料も含めた資料館所蔵の絵画から“郷土の歴史”を解き明かしていきます。ぜひ、ご来館ください。



桜展で紹介する絵画(上)三代広重画「東京名所第一の勝景 墨水堤花盛の図」(左下)三代豊国画「隅田川乃桜」、(右下)「東京名所向嶋櫻花満開之光景」

資料館で初めての「年間特集展示」を開催します

すみだ郷土文化資料館では、東京スカイツリー®の開業を記念し、開館以来初めての年間特集展示を今日から行います。「隅田川の情景」に関する「桜」「花火」「絵巻」「橋と渡し」の4テーマの展示を、来年の2月まで順番に開催していきます。どの展示も、隅田川とその流域の情景を描いた近世・近代の絵画から、その時代に“隅田川という場”がどのような役割を果たしていたのかを明らかにします。

ぜひ、すみだ郷土文化資料館で実際に絵画をご覧いただき、隅田川を中心に発展してきた区の歴史と文化の奥深さをご堪能ください。

【問合せ】すみだ郷土文化資料館 公5619-7034

桜展の見所にズームイン!

絵画から分かる“江戸や明治時代等の墨堤のお花見”

花見の場は流行りの衣装も見られる“粋な場”

8代将軍徳川吉宗の命により、木母寺の南に100本の桜を植えたことが、本格的な墨堤の植桜の始まりといわれています。その後、地元住民などによる植桜が進み、墨堤は「江戸第一の花の名所」と称されるほどになりました。絵画からは、当時の花見の場が流行りの衣装をまとった芸妓などを身近に見られる“粋な場”でもあったことがうかがえます。

仮装や寸劇などを楽しむ人々で大賑わい

江戸から明治に時代が移ると、墨堤の花見の人気はますます高まり、より多くの人で賑わうようになりました。この時代の絵画には酔っ払いが頻りに登場する



「向島隅田堤桜花盛之図」

ほか、その酔っ払いを懲らしめる警察官の姿を描いた作品もみられます。また、仮装をする人や寸劇などを楽しむ人も描かれており、酔って騒ぐことが墨堤での花見の特徴だったことを知ることができます。

桜の咲く時期、レガッタも楽しめた隅田川

明治の中ごろ以降に描かれた絵画には、隅田川の川面を疾走するボートと漕ぎ手に声援を送る人々が描かれている作品があります。海軍の競漕会を契機として盛んになった隅田川のレガッタが、桜の咲く時期に行われたため、墨堤は花見とレガッタを同時に楽しむとする人々で賑わいました。

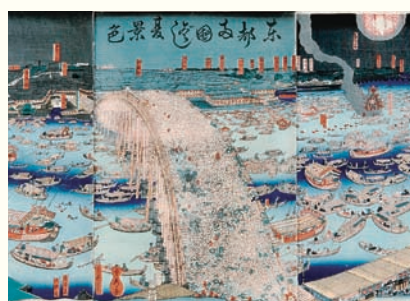
■展示記念講演会「国文学研究資料館の研究員 工藤航平氏が語る“つくられた”桜の名所・隅田堤と小金井」

【とき】5月20日(日) 午後1時半～3時半【ところ】すみだ郷土文化資料館【定員】先着40人【費用】300円(入館料込み)【申込み】4月1日午前9時から電話で、すみだ郷土文化資料館 公5619-7034へ

東京スカイツリー開業記念! 年間特集展示「隅田川の情景」

■今後の特集展示

【テーマ・とき】花火・6月23日(土)～9月2日(日)



貞秀画「東都両国ばし夏景色」

【テーマ・とき】絵巻・9月15日(土)～12月2日(日)



「梅若権現御縁起」木母寺所蔵資料

【テーマ・とき】橋と渡し・12月15日(土)～平成25年2月24日(日)



国芳画「安政乙卯十一月廿三日両国橋渡初之図」

Table with 2 columns: Category (開館時間, 交通機関, 入館料, 申込み) and Details.